

好奇心のトビラ通信

言葉編

いつもお世話になっております。公設塾 mineto です。毎週水曜日に行われている好奇心のトビラ授業の様子を、テーマごとにお送りしていきます！今回は「言葉編」での学びや塾生の様子をお届けします。

CONTACT

美祿市公設塾 mineto

Tel 0837-53-0311

kousetsujuku.mineto@gmail.com

言葉編の授業内容

ヒトの持つ言葉の力について探求しました！

毎週水曜日の好奇心のトビラ授業は、金融編の続き、「言葉編」を実施しました。

第一回授業では、人類の進化を紐解きながら、ホモ・サビエンスが生き残るために、いかに言葉が大切であったかを学びました。

第二回授業では、言葉に関わる職業を紹介。特に「お笑い芸人」に注目しました。どういった時に笑うのか、そのメカニズムを学び、笑いを生み出す物語を考えるワークなども行いました。

第三回授業では、これまでは無かった新しい言葉、「新語」によってものの見方が変わったり、「流行語」によって共感を生み出したりしていることを学びました。また、偉人たちの名言を取り上げ、社会を大きく変えてきた人たちの言葉には、どんな秘密が隠されているのかを学びました。

“人生の達人”の回では、美祿市住みます芸人、快盗スズメの関和紀さんにご登壇いただきました！授業の前半では、芸人を目指した理由など人生についてのお話や、お笑いや演劇といった言葉と体で表現することの面白さや楽しさを伺いました。

漫才のセオリーである三段落ちという技術を学び、自分達で漫才作りをしました！



その後、声と表情だけでどんなシチュエーションを表現しているのかを当てるワークを行ったり、漫才の仕組みを学んだ上で、塾生たちが実際に漫才を作ったりしました。

関さんの使う言葉、表情、細かい仕草それぞれに意図があることを知り、塾生たちは興味津々。うまく表現するためには、まずは他の人の言葉や動きをよく観察することが大切だということ学びました！

気づき / 学び 塾生が授業後に書いた感想を一部抜粋

お笑い芸人のネタ作りは大変そうだなと思った。人を笑わせるには単語とかではなく、予想の裏をつくことが大切だなと思った。



言葉は、時代が変わるにつれて、使われなくなったり、新しく作られたりする。言葉がもしなかったら、人間はどうなるのだろうと思った。



ツッコミとボケがあるのは日本くらいだと聞いてびっくりした。外国の漫才みたいなのはどうやって人を笑わすのか気になった。



絵で伝言ゲームをしたのが難しかった。絵では伝わらないことがたくさんあるので言葉は大切だなと思った。



笑いには様々な種類があることを知った。笑いで夢が変わる人もいる。今はマスクをして過ごすことが多いので、それが笑いに影響を与えたりすることはないのか。



言葉は時代によって使われなくなったり、新しく作られたりするもの。言葉の意味をちゃんと理解して使うことが大事だと感じた。



次回のテーマ

◎次のテーマは「建築編」

家、学校、橋、トンネルなど、人類はこれまで様々なものを建築してきました。建築編では、特に高い建物について探究します。

初回授業では、なぜヒトは高い建物に惹かれるのか、その謎を歴史を学びながら紐解いていきます。

第二回以降では、東京タワーやスカイツリーの知られざる秘密に迫っていきます！お楽しみに！

